令和８年１１月２４日発行

いいもの成らせるさくらんぼ便り

「絶対成らせる」さくらんぼ通信 越冬対策編

Vol. 2　今後もドカ雪の恐れあり！雪害対策を万全に！

★ 褐色せん孔病による早期落葉が多発！休眠期防除を徹底！
★ 局地的なドカ雪が懸念！積雪に備えた対策を万全に！

1　落葉後の防除対策

早期落葉園は必ず散布

褐色せん孔病 樹脂細菌病	ＩＣボルドー66D 40 倍を落葉後、幹と枝に丁寧に散布
カイガラムシ類	寄生された枝のせん除、ブラシがけ
コスカシバ	ガットキラー乳剤 100 倍を落葉後、幹と主枝に十分散布

2　野ネズミ対策（根雪前まで実施）

（１）野ネズミが住みにくい環境づくり

【対策１】営巣しにくい環境づくり
◇ 園地の除草、マルチ・敷きわら等の除去

【対策２】園地の清掃
◇ 果実残さ等エサになるものを置かない

（２）苗木・幼木の保護

・地際～地上 1m まで 金網で覆う（消雪後に外す）



【金網設置の様子】

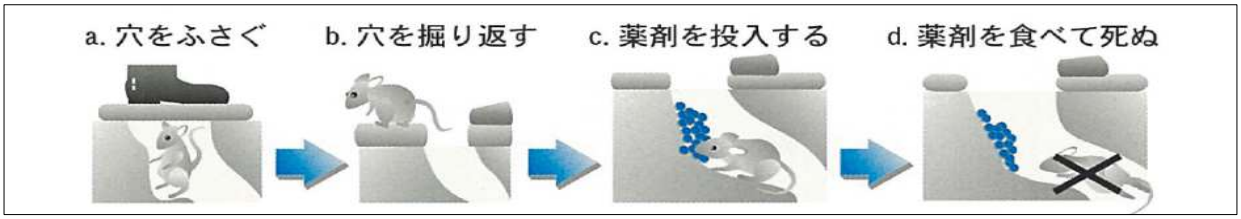
（３）野ネズミの密度低下

・殺そ剤は、「越冬準備期」と「春の消雪後」の年２回実施
※薬剤の使用にあたっては使用量、使用方法を遵守
・作業時は、人工的な臭いが付かないよう手袋を着用



【生き穴の特徴】
・穴がきれい
・入口周りに草がない

【対策１】巣穴に殺そ剤・毒エサを投入する方法
◇ 野ネズミが出入りしている**「生き穴」**に投入
※「生き穴」の確認方法：前日に穴を埋めて、翌日開いているのが「生き穴」



ネズミ防除要覧（大塚薬品工業株式会社）」より引用

【対策２】エサ場を作って殺そ剤を設置する方法
◇ エサ場の設置：４個～10 個/10ａ程度（園地の外周部に重点的に設置）
◇ 雪等で薬剤が濡れるのを防ぐため、**縦に切った塩ビ管、枯れ草・稲わら**などで覆い中央付近に殺そ剤を入れる（設置の際は野ネズミ以外の動物の誤食を防止）

3 雪害対策

（1）降雪前の対策



2 本の支柱をクロスさせるとずれにくい
（りんごの事例）

① 支柱の設置

・大枝から支柱がずれないように設置
　→ 2 本の支柱をクロスするとずれにくい

・苗木や若木は支柱に側枝を結束

② 粗剪定の実施

・発生角度の狭い枝、樹上に雪が積もりそうな徒長枝などを切る

③ 施設被害の回避

・雨樋の下に支柱がない連棟ハウスでは、支柱を追加して補強

こんな部分は要注意！

樹　：大枝や分岐部
施設：雨樋やパイプの交差部

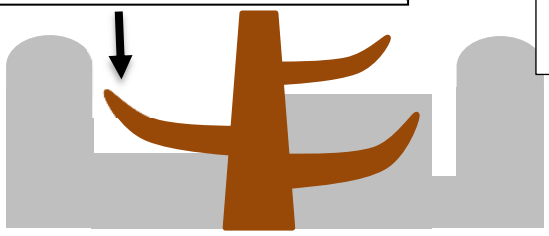
（2）積雪後の対策

① 雪下ろしと枝の掘り上げ

・大雪時は速やかに樹や施設の雪を下ろす

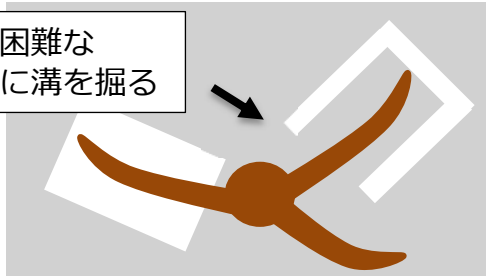
側部

埋もれた枝は掘り上げる



上部

堀り上げが困難な場合は周りに溝を掘る



② 裂けた樹の応急対策

・主幹部が裂開した場合、できるだけ早急に支柱を添える。

③ 融雪剤の散布

・散布量　４０kg/１０ａ程度
・散布は樹冠下中心に（幹周りが効果高い）
・散布時期は、積雪ピーク後の２月下旬以降降雪で融雪剤が見えなくなったら再散布



雪質がざらめ化し、沈降力が弱まる

雪害対策の詳細はこちらから
『雪対策ハンドブック（R7.2 山形県作成）
＜※やまがたアグリネット HP にリンク＞

村山総合支庁農業技術普及課 ・ 西村山農業技術普及課 ・ 北村山農業技術普及課
TEL:023-621-8291　TEL:0237-86-8301　TEL:0237-47-8630
山形さくらんぼブランド力強化推進協議会（事務局：農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課